

島田市総合医療センター 看護部キャリアラダー

レベル		I	II	III	IV	V
レベルの定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践するメンバーの役割を理解し、助言を受けて協働できる	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践し、メンバーシップを発揮する	患者・周囲の人々にあつた個別な看護を実践し、リーダーシップを発揮する	幅広い視野で予測的判断を持ち、熟練した看護を実践するチーム医療を推進する	より複雑な状況において、患者にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践するチーム医療の要となり、創造的にリーダーシップを発揮する
看護の核となる実践能力	ニーズをとりえる力	レベル別目標 助言を得て、患者・周囲の人々や状況(場)のニーズをとらえる 行動目標 ■助言を受けながら患者や周囲の人々に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集できる ■患者の状況から緊急度を捉えることができる	患者・周囲の人々や状況(場)のニーズを自らとらえる ■患者に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ■得られた情報をもとに、患者の全体像から課題をとらえることができる	患者・周囲の人々や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる ■患者・周囲の人々に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性をふまえた必要な情報収集ができる ■得られた情報から優先度の高いニーズを捉えることができる	患者・周囲の人々や状況(場)を統合しニーズをとらえる ■予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ■幅広い視野で患者を捉え、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践できる ■急変時、リーダーシップがとれる	患者・周囲の人々や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる ■複雑な状況を把握し、患者・家族を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる ■患者・家族や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる ■専門性を発揮し、患者全体を広く捉え情報収集できる
	ケアする力	レベル別目標 助言を得て、安全な看護を実践する 行動目標 ■指導を受けながら、看護手順に沿ったケアが実践できる ■指導を受けながら、患者に基本的な生活援助を提供できる ■看護手順やガイドラインに沿って、基本的な看護技術を用いて看護援助ができる	患者・周囲の人々や状況(場)に応じた看護を実践する ■患者の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる ■患者の状況に応じた援助ができる ■患者に対してケアを実施する際に必要な情報を得ることができる	患者・周囲の人々や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する ■患者の個性に合わせて、適切なケアを実践できる ■患者の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる	様々な技術を選択・応用し看護を実践する ■患者の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる ■幅広い視野で患者を捉え、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践できる ■急変時、リーダーシップがとれる	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する ■患者の複雑なニーズに対応するためのあらゆる知見(看護及び看護以外の分野)を取り入れた看護実践を、質的・量的に評価し、自己共に入力したフィードバックできる ■複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	レベル別目標 関係者と情報共有ができる 行動目標 ■助言を受けながら患者を看護していくために必要な情報が向かふ考え、その情報を関係者と共有することができる ■助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる ■患者を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる ■基本的な看護手順の役割を担うことができる ■連絡・報告・相談ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる ■患者を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる ■関係者と密にコミュニケーションを取ることができる ■看護の展開に必要な関係者を特定できる ■看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換ができる	患者・周囲の人々、多職種と連携ができる ■患者の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる ■患者やチームについて意見交換ができる ■積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	患者・周囲の人々を取り巻く多職種の力を調整し連携できる ■患者がおかれている状況を広く捉え、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ■多職種の連携が機能するように調整できる ■多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	患者・周囲の人々の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす ■複雑な状況の中で見えにくくなっている患者のニーズに適切に対応するために、自立的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる ■多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる ■関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる ■目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
	意思決定を支える力	レベル別目標 患者や周囲の人々の意向を知る 行動目標 ■助言をうけながら、患者を一人として尊重し、受容的・共感的態度で接することができる ■助言をうけながら、患者や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる。	患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる ■患者や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ■確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	患者や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる ■患者や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる ■患者や周囲の人々の意向の違いを理解できる ■患者や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	患者や周囲の人々に意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる ■患者や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる ■適切な資源を積極的に活用し、患者や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる ■法的及び文化的配慮など多方面から患者や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる
レベルの目標		①病院の理念を理解し、組織の一員として、助言を受けて行動できる ②所属部署で割り当てられた、手順に沿った作業を担当することができる ③所属部署のルーチン業務を単独で実施できる標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	①チーム目標達成に向け、自己目標をチーム目標に運動させ、目標達成に取り組める ②リーダーシップを学びながら、所属部署でリーダーとしての役割を遂行する ③所属部署のルーチン業務を単独で実施できる標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	①部署目標の達成に向け、自己目標をチーム目標に運動させ、目標達成に取り組める ②看護部内の委員会活動や所属部署での教育・指導的役割を担う ③チーム運営でリーダーシップを発揮する専門的な知識・技術を活用し、患者にあつた個別な看護を実践する	①看護部や病院から求められる役割を認識し、チーム医療を推進する ②所属部署の目標達成に向けたマネジメント力を発揮する幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	①病院組織の目標達成に向け組織変革を推進できる ②看護部や病院から求められる役割を認識し、チームの要として、創造的なマネジメント力を発揮するより複雑な状況において、患者にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する
マネジメント能力	目標管理	■病院、看護部の理念があることを知っている ■部署目標・チーム目標を知っている ■チームメンバーの役割を理解し、助言を受けながらメンバー業務ができる	■病院、看護部の理念を言うことができる ■部署目標・チーム目標達成に向け、支援を受けながら実践できる ■日々のリーダーの役割を理解し、実施できる ■チームメンバーとしての役割を発揮できる	■病院、看護部の理念を説明できる ■チームリーダーの役割を理解できる ■部署の目標達成に向け、助言を受けてチーム目標を設定できる ■チームメンバーの技量を合わせた指示や支援ができる ■チーム内でリーダーシップを発揮できる	■理念をふまえた部署の目標達成に向けて活動できる ■チーム活動の推進と方向性の修正ができる ■メンバーの能力を把握し、業務調整できる ■メンバーの力が最大限発揮できるように調整する ■師長不在時の代行業務ができる	■病院組織の目標を知り、達成に向けて部署の役割を考へることができる ■部署目標に基づき自らの実践を定期的に見直すことができる ■スタッフ間、上司とのパイプ役として機能する ■師長不在時の代行業務ができる ■自己の立場がわかり、的確なリーダーシップをとることができる ■組織の現状を認識し、あらゆる場面で活動を推進することができる
	安全管理	■医療事故防止マニュアルの存在を知っている ■助言を受けながら医療事故防止マニュアルに沿った行動がとれる ■助言を受けながらインシデントレポートを作成し、報告できる	■インシデントを発見し、報告できる ■医療事故防止対策マニュアルに沿った行動がとれる	■自己のインシデントの原因について振り返りができる ■部署のインシデントに対して防止対策を立案・実践できる	■リスクの予測ができ事故防止対策をとることができる ■インシデントの原因分析ができる ■安全管理上の対策を考へ、スタッフに指導できる	■部署における安全管理上の問題点を考へ、必要な業務改善を推進できる ■スタッフに安全管理意識の向上のための啓発ができる
	感染管理	■助言を受けながら、標準予防策が実施できる	■標準予防策が実施できる ■経路別感染予防策を知っている	■経路別感染予防策を知り、それに沿った対策をとることができる	■感染管理の部署の問題に気づき対策を立案、実践できる ■感染対策について、スタッフに指導できる	■感染管理の徹底と意識向上のための教育・指導ができる
	防災管理	■災害マニュアルの存在を知っている ■防災訓練に参加する	■災害マニュアルの内容を理解できる ■災害発生時の一般的な対応が知識としてわかる	■災害発生時におけるべき行動が実践レベルでわかる	■災害時、災害訓練時、リーダーとして適切な行動を取り、スタッフ指導ができる	■緊急時の対応、災害対策に関する指導をしている
	物品管理	■医療材料、医療機器、看護用品、薬剤を大切に取り扱いができる ■SPDシールの使い分けがわかる ■コスト意識を持つ ■療養環境における不具合に気づき報告できる	■物品(医療材料、医療機器、看護用品)に不備が生じた場合報告ができる ■院内物流システムを知っている ■医療機器、器材を適正に使用できる ■衛生材料や物品の無駄がないよう、コストを意識した使用方法を選択することができる。	■備品、物品の不備や故障に対応できる ■療養環境について不具合が生じた時、改善に向け相談できる ■部署の5S活動など、業務改善に主体的に参加する	■療養環境について問題意識を持ち、改善を提案できる ■コストを意識した物品選択ができる ■コスト管理意識を持ち、使用状況に応じて物品や薬品の適正管理ができる	■療養環境について問題意識を持ち、改善に向け指導している ■使用状況に応じて物品、薬品の適正管理をしている ■院内内外の最新の情報をもちに改善案を提案している
	時間管理	■業務が円滑に開始できるように余裕をもって行動できる ■助言を受けながら、優先順位を考へ、決められた時間の中で業務を進めることができる ■期限や時間を守り、研修や会議に参加することができる	■優先順位を考へ、決められた時間の中で業務を進めることができる ■期限や時間を守るよう自ら相談や連絡、調整ができる ■チームメンバーと連携をとりながら勤務時間内に一定の業務を終了できる	■メンバーが優先順位を考へ、決められた時間の中で業務をすすめることができるように支援することができる ■管理者とともにチーム活動をするためのスケジュール管理、時間管理ができる	■優先順位を考へ、決められた時間の中で業務を進めることができるモデルとしての行動がとれる ■部署の業務の現状を把握し、問題点を発見し、管理者と共に改善できる ■部署運営、チーム運営が円滑に進めるためのスケジュール管理、時間管理ができる	■部署の業務の現状を把握し、問題点を見だし改善できる ■看護の質の担保や労働管理をふまえた勤務表の作成、部署のスケジュール管理、時間管理ができる ■労務基準、就業規則を理解し労務管理ができる
教育・研究能力	レベルの目標 自己の課題を指導によって発見し、自主的に学習に取り組む	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習課題を展開する	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的役割を実践する	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、後輩のロールモデルとなる	看護の質を追求し、組織運営に活用すると共に、研究に取組み、成果を発信する	
自己啓発	行動目標	■院内教育プログラムに参加する ■部署の勉強会に参加する	■院内外の研修に自主的に参加できる ■部署の勉強会に学習目標をもって参加できる ■助言を受けながら自己の学習課題を見出し、学習計画を設定できる ■担当看護師の体験を通し、自己の看護を振り返り、ナラティブで語るができる。	■院内外の研修に自主的に参加できる ■自己の学習課題を明確にし、目標設定を行うことができる ■興味や関心のある領域を見つけ自己学習ができる ■所属部署に関する患者ケアに対し専門的知識を学習できる ■自己が大切にしている看護を言語化することができる	■部署の勉強会を主体的に計画し、実施できる ■部署の教育プログラムに積極的に参加し指導者としての役割をとることができる ■自己の能力開発に努め、実践に活用できる ■所属部署に関する課題に気づき、問題提示できる ■自己が大切にしている看護を言語化し、スタッフ指導に活かしている	
	教育・指導	■臨床実習に協力できる	■参加した研修の内容をスタッフに伝達することができる ■臨床実習に協力できる	■助言を受けながら所属部署の教育プログラムに参画できる ■後輩に基本的な指導ができる ■状況に応じて実地指導者の支援ができる ■後輩や看護学生に知識や根拠に基づいた指導ができる ■臨床実習で看護学生にアドバイスができる	■実地指導者を支援している ■所属部署の教育計画の立案、実施をしている ■問題行動が見られるスタッフに対して教育的に関わりをもっている ■病棟運営や多部門との連携に関してスタッフに指導している ■医療、看護の動向に応じた指導、後輩の育成をしている ■臨床実習の教育的環境を整えている ■学生の学習計画や実践状況を評価し、効果的な実習になるようアドバイスしている	
	研究	■他者の実践した看護研究に関心を持つことができる ■院内研究報告会を聴講できるオンデマンド「看護研究コース・基礎」を視聴できる。	■勧められた学会または研修会に参加できる ■院内研究報告会を聴講できる。またはオンデマンド「看護研究コース・基礎 応用」を視聴している	■自主的に興味をもって学会に参加できる ■学研オンデマンドの「研究コース 基礎・応用」を視聴している ■実践の中で研究課題を見いだすことができる ■文献を活用し、看護実践につなげられる	■新たな知見を得るために、自主的に学会に参加することができる ■学研オンデマンドの「研究コース 基礎・応用」を視聴している ■自分が取り組んだ看護実践を研究発表する準備ができる。(倫理審査に提出している) または看護部の査読に出すことができる。 ■研究課題をもっているスタッフの研究相談に応じることができる ■文献活用についてスタッフに指導できる ■学会で得られた研究結果を臨床での看護に活用できる	■学会への参加を自主的にし、自ら行う研究・実践へと活用できる ■学研オンデマンドの研究コース 基礎・応用を視聴している ■スタッフの研究指導を実施している ■査読のある学会等で看護研究の発表ができる ■組織内で行われた看護研究を必要時業務改善に結びつけている ■必要に応じて参考文献をスタッフに提示できる
人間関係・役割遂行能力	レベルの目標	社会人としての責任・協調性を認識し、基本となるマナーを身につけ行動できる	社会人としての責任・協調性を持ち、自立して行動できる	社会人・組織人として教養を身につけ、スタッフの模範となって行動できる	部署内外にネットワークを広げ、良好な人間関係を築き活動することができる	院内外にネットワークを持ち、共通目的達成に向けての活動ができる
	倫理	■倫理について学習できる ■看護者の倫理綱領を知っている ■患者ケアに関わる体験を同僚と共有し、倫理について考えることができる	■看護者の倫理綱領の内容を理解できる ■担当患者の看護の振り返りを通して看護倫理について考へ、実践につなげることができる	■看護実践の中から倫理的問題を明確にできる ■患者の権利を理解し、尊重した行動がとれる	■医療チームにおける様々な関わりの中の倫理的、道徳的なジレンマに対処できる	■所属部署における倫理的問題点を明確にでき、スタッフに問題提示し、解決策を導き出すよう指導している
	役割(リーダーシップ)	■患者に関心をよせ患者のニーズを把握できる ■その場に応じて自身の考えが述べられるよう努力する ■チームメンバーの役割を理解し、助言を受けながらメンバー業務ができる	■看護チーム、関連部署の役割について理解し、必要な連絡・報告・相談ができる ■患者、家族、看護チームに適切な情報提供ができる ■その場に応じて自分の考えが述べられる	■患者、家族に対し、分け隔てなく要望を聞き、対応できる ■スタッフが自由に意見交換できる雰囲気作りを努力している	■他の医療チームと情報を共有し、関連部署の立場を尊重しながら調整できる ■他者の訴えを傾聴し、良好な人間関係を築ける ■スタッフが自由に発言しあえる雰囲気作りをしている	■対人関係スキルを用いて、患者・家族の人権と様々な価値観を尊重し、信頼が高められるよう、関係を継続している ■自分の能力や限界を理解し、必要時に役割担当者(患者支援相談窓口など)に相談している ■スタッフの能力開発、人間性の成長を支援している
	社会性(コミュニケーション)	■社会人、職業人としての基本的態度が理解できる ■礼儀正しい姿勢と丁寧な言葉遣い、基準を満たす身だしなみができている	■社会人、職業人として常識的な行動がとれる ■患者優先意識を持ち、常にホスピタリティを意識している	■社会人、職業人として常識的な態度や責任ある行動が身につけている ■ホスピタリティを意識した行動がとれる	■社会人、職業人として優れた態度や行動が身につけている	■社会人、職業人として自己を磨き、能力向上を図っている